


**WVL-02,02CN Type Level Control Valve (for Water)**
**WVL-02,02CN型 定水位弁(水用)**
**[ FVバルブ ]**

水道法性能基準適合品 (WVL-02N, 02PN, 02CN型)

**製品記号** WVL02-B (一般用、本体FC)  
 WVL02-L (一般用、本体FCD)  
 WVL02CN-B (ナイロンコーティング)

水道の受水槽のほか、畑地かんがい用受水槽、減圧水槽などに使用する大容量の定水位弁です。

**仕様**

種類	一般用		ナイロンコーティング
型式	WVL-02型		WVL-02CN型
製品記号	WVL02-B	WVL02-L	WVL02CN-B
呼び径	80~400	80~200	80~200
適用流体	水 <sup>注1</sup>		
流体温度	5~60°C		
適用圧力	呼び径200以下 : 0.03~0.75MPa、呼び径250以上 : 0.05~0.75MPa		
弁前後の最小差圧	呼び径200以下 : 0.03MPa、呼び径250以上 : 0.05MPa		
端接続	JIS 10K RF フランジ又は水道用仕切弁フランジ		
基本弁材質	本体	FC	FCD
	要部	ダイヤフラム・ディスク(合成ゴム)、弁座(CAC406)	
基本弁塗装又はコーティング塗膜	内面 : 水道用液状エポキシ樹脂		内外面共ナイロン11 0.3mm以上(白色)
本体耐圧性能	水圧にて1.75MPa		
取付姿勢	水平配管に正立取付		
付属ボールタップ	本体呼び径200以下 : 呼び径20(ポリ玉砂入り) <sup>注3</sup> 本体呼び径250以上 : 呼び径25(ポリ玉砂入り)		

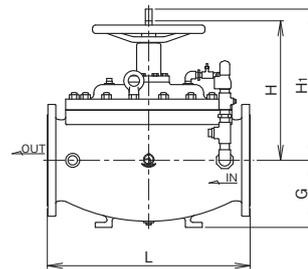
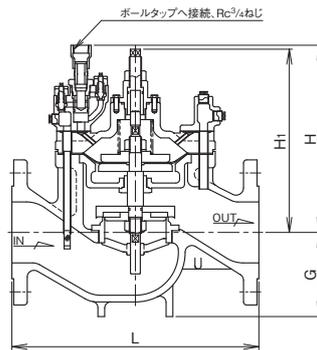
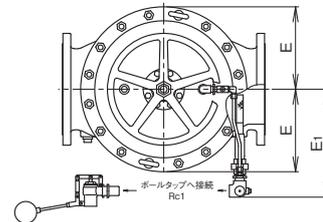
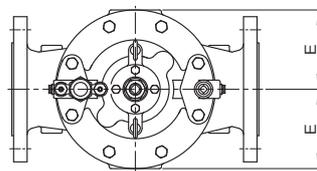
注1. 給水装置に使用する場合は水道法性能基準適合品のWVL-02N型、WVL-02PN型、WVL-02CN型をご使用ください。  
 注2. 水道法性能基準適合品(本体FC製、呼び径80~200)のWVL-02PN型(本体内外面エポキシ樹脂粉末塗装)、WVL-02N型(本体内面水道用液状エポキシ樹脂塗装)も製作しています。  
 注3. ボールタップ(LB-2N型 呼び径20)は単品でも販売しています。203頁をご参照ください。  
 注4. 呼び径選定図表は169頁をご参照ください。

**寸法表(本体FC製)**

(mm)

呼び径	L		G	H	H <sub>1</sub>	E	E <sub>1</sub>	Cv値	質量(kg)
	JIS 10K	水道							
80 (75)	350	354	110	277	261	117	—	90	43
100	400	402	130	303	300	130	—	160	60
125	440	442	140	334	371	145	—	250	70
150	500	500	165	367	416	173	—	360	125
200	600	602	200	418	522	218	—	640	200
250	720	718	240	490	560	295	390	1000	470
300	820	818	280	540	620	328	400	1440	524
400	1040	1036	370	690	800	440	490	2560	1400

注1. JIS 10K: JIS 10K RF フランジの寸法です。  
 水道: 水道用仕切弁フランジの寸法です。  
 注2. 基本弁本体材質FCD製の寸法はお問い合わせください。

**構造図**


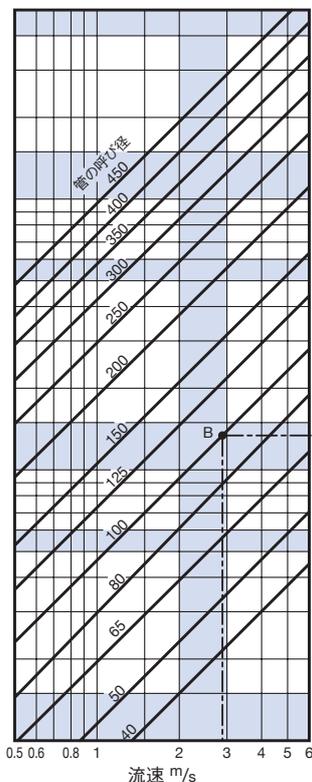
呼び径80~200

呼び径250~400

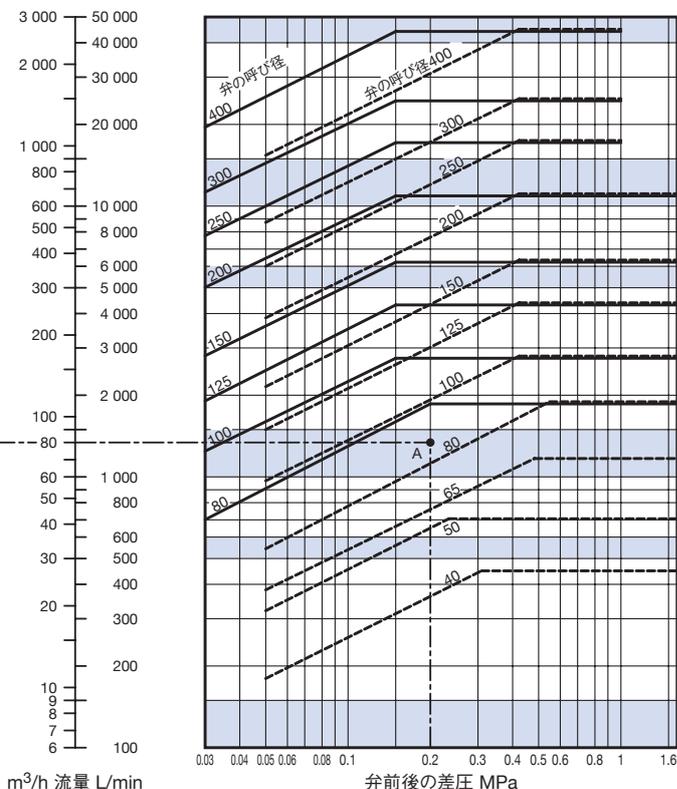
# 資料/WV型 調整弁(水・温水用)

## 呼び径選定図表<水用>

■流速線図表



■呼び径選定図表



●呼び径選定図表の ---- (破線) 適用機種

減圧弁WVR-02,07型、一次圧力調整弁WVM-02,07型・WVME-02型、保圧減圧弁WVMR-02型、落水防止弁WVMS-02型、差圧レリーフ弁WVD-02型

●呼び径選定図表の —— (実線) 適用機種

電磁弁WVE-02型、定水位弁WVL-02型

●図表の使い方

一次側圧力0.5MPa、二次側圧力0.3MPa、流量80m³/hの場合の弁の呼び径の選定

1. 弁前後の差圧を0.5 - 0.3 = 0.2MPaで求めます。
2. 流量80m³/hを水平にたどって、弁前後の差圧0.2MPaとの交点Aを求めます。
3. A点は弁の呼び径80と100の間にあります。この場合、大きい方の呼び径100を選定します。

●配管流速の確認

1. 管の呼び径を弁の呼び径と同じと仮定し、流量80m³/hを水平にたどって管の呼び径100との交点Bを求めます。
2. B点を垂直にたどって配管流速2.8m/sを求めます。
3. 配管流速が3m/s以内ですから、管の呼び径100は採用できます。この時、配管流速が3m/sを超える場合は、管の呼び径を大きくして、配管流速が3m/sを超えない管の呼び径を求めます。

●参考

■減圧弁や一次圧力調整弁で、動水圧力を考慮して呼び径選定する場合の例

減圧弁では、二次側圧力にオフセットの最大値を加えて、一次圧力調整弁では一次側圧力からアキュムレーションの最小値を差し引き、それぞれの弁前後の差圧で呼び径を選定します。

●減圧弁の例

減圧弁の仕様の項より、オフセットの最大値0.1MPaを求め、弁前後の差圧を0.5 - (0.3 + 0.1) = 0.1MPaで算出してから「図表の使い方」の例題と同様の手順で呼び径を求めます。

●一次圧力調整弁の例

一次圧力調整弁の仕様の項より、アキュムレーションの最小値0.03MPaを求め、弁前後の差圧を(0.5 - 0.03) - 0.3 = 0.17MPaで算出してから「図表の使い方」の例題と同様の手順で呼び径を求めます。

- 注1. 呼び径選定図表で、弁の呼び径線の水平線位置はそれぞれ弁の最大流量です。  
 注2. 流速線図表で採用する管の呼び径は、特別な理由がない限り流速3m/sを最大値としてください。  
 注3. 消防型式認定品の最大流量はお問い合わせください。  
 注4. 呼び径40~65はWVR-02型、WVM-02型のみとなります。  
 注5. 呼び径40,50で弁前後の差圧が大きい場合は、お問い合わせください。

## 資料/定水位弁 (FVバルブ)

**注意**
 設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

### FVバルブの調整 (LP型シリーズの例)

#### ■弁閉時間の調整 対応型式LP-8HN, 8AHN, 9HN, 10H型

出荷時に弁閉時間の調整をしておりますが、特に異常がある場合は下記の要領で弁閉時間の調整を行ってください。

##### ●弁閉時間を遅くする。

ボールタップが閉じてから定水位弁が弁閉するまでの時間が短くウォーターハンマが発生した場合には、ロックナットを緩めてからニードル弁を右回転(時計方向)してニードル弁開度をより小さくしてください。

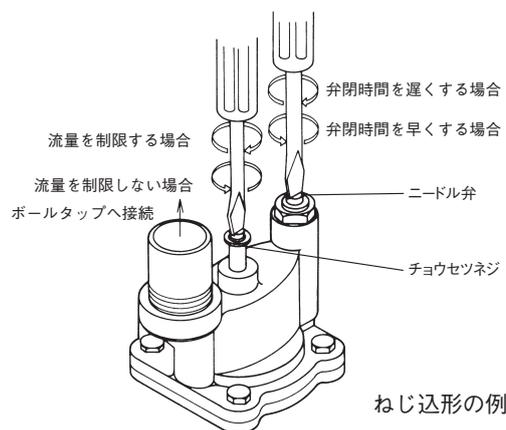
##### ●弁閉時間を早くする。

ボールタップが閉じてから定水位弁が弁閉するまでの時間が長く、止水水位が上昇する場合やオーバーフローになる場合は、ロックナットを緩めてからニードル弁を左回転(反時計方向)してニードル弁開度をより大きくしてください。

#### ■流量の調整 対応型式LP-8HN, 8AHN, 9HN, 10H型 LP-8RN, 8ARN, 9RN型

水圧が高い場合や落差が大きい場合には給水時に流量が過大となり、振動や騒音が出る場合があります。このような場合は、チョウセツネジを右回転(時計方向)して弁のストロークを縮めることにより、流量を制限して流速を抑えます。(このチョウセツネジで全閉にすることはできません。)

### 弁閉時間の調整、及び流量の調整



### ステンレス製ボールタップの調整 (LP-10、10H型用)

#### ■止水水位調整方法

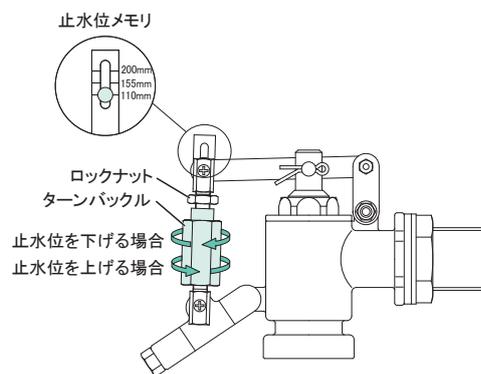
##### ●弁閉止水水位を下げる

ロックナットを緩めターンバックルを右回転(時計方向)してストロークを長くします。

##### ●弁閉止水水位を上げる

ロックナットを緩めターンバックルを左回転(反時計方向)してストロークを短くします。

注1. 止水水位調整後、ロックナットを締め固定してください。  
注2. メモリの止水水位はあくまで目安です。実際の止水水位を確かめながら調整してください。



### 寒冷地用定水位弁の水抜きと、再通水 (復帰)

対応型式LP-8RN, 8ARN, 9RN型

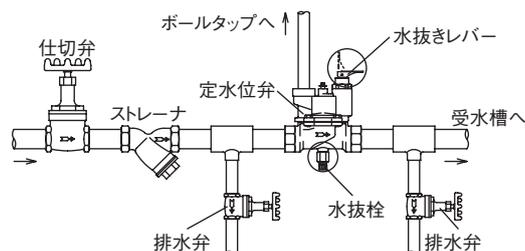
#### ■水抜きの方法

- ①給水元弁を止め、受水槽の水位を下げてボールタップを開弁状態にします。
- ②定水位弁の水抜きレバーを持ち上げ、(ストレート形のLP-8RN, 9RN型はさらに下部の水抜き栓を開いて)水を抜きます。完全に水が抜けたら水抜き栓を閉じます。

#### ■再通水(復帰)の方法

給水元弁を開いて給水を開始し、2~3分後にボールタップ、及び定水位弁本体から給水している事を確認してから、水抜きレバーを下げて通常の給水に入ります。

### 水抜きと再通水 (復帰)



# 資料/定水位弁 (FVバルブ) 設置上のポイント

<b>注意</b>	設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。
-----------	--

## ■配管例図

図1. ストレート形の例

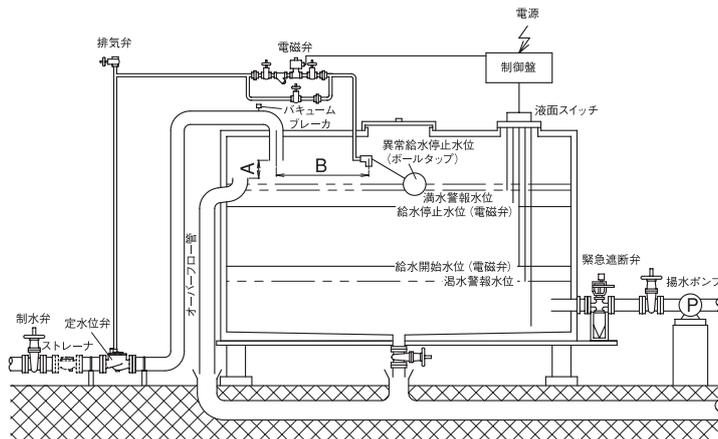
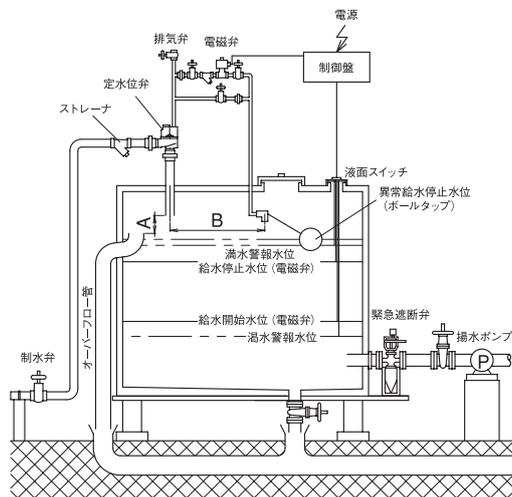


図2. アングル形の例



各事業体により定水位弁の位置、寸法など上記以外の施工規定のある場合がありますのでご確認ください。  
受水槽(高置水槽)の緊急遮断システムについては392~397頁をご参照ください。

## ■使用例

ボールタップと電磁弁による制御

液面スイッチで水位を検出し、パイロット電磁弁の作動により主弁を開閉させて水位制御を行います。

パイロット電磁弁が故障し、異常水位になると安全装置としてのボールタップが閉止し、定水位弁を閉止させます。

## ■選定上の注意

定水位弁一次側に当社FD-9N、10N型定流量弁を過流量制限目的で設置する場合、選定に当たっては次のことに注意してください。

※定流量弁は通水時圧力損失が発生します。定水位弁後、立ち上がり配管が3m以上の場合、流速1m/s以上の設定流量を選定してください。なお、流速1m/s未満の場合は、お問い合わせください。

## ■設置上のポイント

- Aの間隔は、呼び径20:40mm以上、呼び径25:50mm以上、呼び径32以上:管径×1.7+5mm以上としてください。(受水槽面積によって調整する。)
- Bの間隔は、ボールタップの浮子波動防止のためできるだけ大きく(1m以上)とるか、防波処置をしてください。
- 定水位弁の一次側には制水弁(仕切弁)とストレーナを取り付けてください。  
※網目:国土交通省は、40メッシュ以上、パイロット電磁弁の一次側は80メッシュ以上。
- 定水位弁の二次側配管が長い場合や屈曲が多い場合は、二次側にVD-2N型バキュームブレーカ(203頁参照)を取り付けてください。
- 定水位弁の取付けは配管内を十分放水洗浄し、異物を洗い流してから、水平配管に正立に取り付けてください。
- 呼び径20~50のねじ込形は配管との接続にユニオン継手、又はフランジ継手を使用してください。
- 保守点検を容易に行うため、パイロット配管には定水位弁のすぐ近くにユニオン継手を、又ユニオン継手とボールタップの間に止弁を取り付けてください。
- パイロット配管の呼び径は、定水位弁のパイロット配管接続口の呼び径より小さくしないでください。
- ボールタップはマンホールの近くの点検しやすい場所に取り付けてください。
- 寒冷地で使用するとき、定水位弁の凍結破損を防ぐため十分保温してください。
- 受水槽の設置場所によっては、定水位弁の出口側配管からの流水音が騒音クレームにつながる場合があります。人の居場所近くなどに設置する場合には、遮音、防音の配慮をお願いします。



## DATA/Level Control Valve (FV Valve)

### 定水位弁 (FVバルブ) 関連商品 **製品記号**

DS11N-J□ (青銅製、AC100V)、DS11N-J□2 (青銅製、AC200V)  
 DS11LN-J (管端コア取付可能)、DS16-D (ステンレス製)  
 WS22N-F (青銅製、通電開)、WS22CN-F (青銅製、通電閉)  
 WS25N-D (ステンレス製、通電開)、WS25CN-D (ステンレス製、通電閉)  
 WS40N-F (青銅製、通電開) ※□内には定格電圧の記号が入ります。

### 定水位弁パイロット用電磁弁 (別途注文品)

定水位弁のパイロットラインの圧力は給水時には極端に下降して、パイロット式の電磁弁では作動できないことがあります。定水位弁には対応表に示す電磁弁をご使用ください。

#### ■定水位弁 (FVバルブ) 電磁弁型式対応表

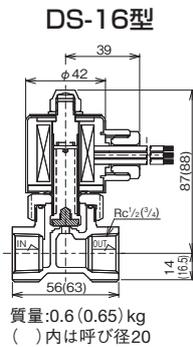
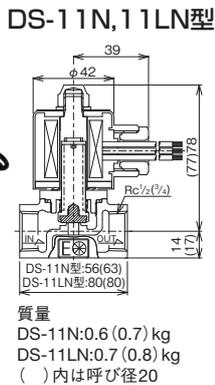
定水位弁 (FVバルブ)		DS-11N, 11LN, 16型 (通電時弁開)	WS-22N, 25N, 40N型 (通電時弁開)	WS-22CN, 25CN型 (通電時弁開)
型式	呼び径			
LP-8N, 9N型	20~50	○	○	○
LP-8HN, 9HN型	65~100	×	○	○
LP-8AN, 8AHN型	20~50	○	○	○
LP-9N, 9HN型	65~100	×	○	○
LP-10, 10H型	20~50	○	○	○
WVL-02型	80~400	×	○	○
LP-8RN, 8ARN, 9RN型, 他社定水位弁		×	○	○

注. WVL-02型呼び径250以上は、WS-22N, 22CN, 25N, 25CN型の呼び径25をご使用ください。また、WS-40N型は呼び径200以下の定水位弁をご使用ください。  
 他社定水位弁及び寒冷地用定水位弁に使用する場合はWS型とし、特に寒冷地での使用に当たっては、凍結破損を防ぐため、十分保温してください。ただし、コイル部分は保温しないでください。

#### DS-11N, 11LN, 16型 (通電時弁開) ■構造図



写真はDS-11N型です。



#### ■仕様 水道法性能基準適合品

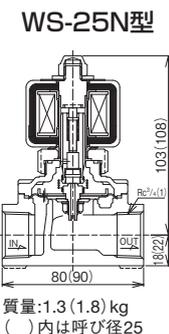
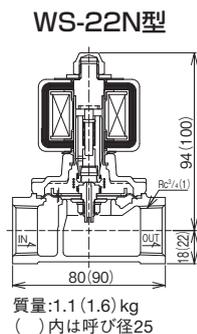
種類	本体青銅製	管端コア取付可能 <sup>注1</sup>	本体ステンレス製
型式	DS-11N型	DS-11LN型	DS-16型
製品記号	DS11N-J□	DS11LN-J	DS16-D
呼び径	15・20		
適用圧力	0~0.75MPa		
材質	本体 (CAC)、要部 (SUS・FKM)		本体 (SCS)、要部 (SUS・FKM)
定格電圧	①: AC100V 50/60Hz AC100V 50/60Hz又は ②: AC200V 50/60Hz AC200V 50/60Hz専用		
定格電流	AC100V: 0.19A AC200V: 0.10A		
起動電流	AC100V: 0.57A AC200V: 0.29A		
保護構造	防塵、防滴形・屋内用 <sup>注2</sup>		
Cv値	0.45		

注1. DS-11LN型は管端コア内蔵品も製作しています。  
 注2. 屋外で使用する場合は端子箱を併用してください。

#### WS-22N, 25N型 (通電時弁開) ■構造図



写真はWS-22N型です。



#### ■仕様 水道法性能基準適合品

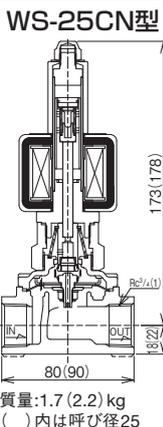
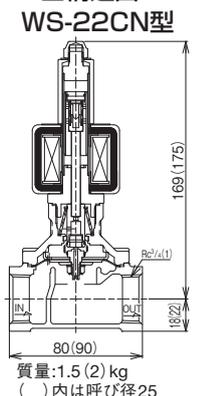
種類	本体青銅製	本体ステンレス製
型式	WS-22N型	WS-25N型
製品記号	WS22N-F	WS25N-D
呼び径	20・25	
適用圧力	0~1.0MPa (コイルが水平の場合は0.03~1.0MPa)	
材質	本体 (CAC)、要部 (SUS・NBR) 本体 (SCS)、要部 (SUS・NBR)	
定格電圧	AC100V 50/60Hz AC200V 50/60Hz共用	
定格電流	AC100V: 0.26A AC200V: 0.13A	
起動電流	AC100V: 0.76A AC200V: 0.38A	
保護構造	防塵、防沫形 (IP54相当)・屋内用 <sup>注2</sup>	
Cv値	呼び径20: 7、呼び径25: 10	

注1. 他の特殊電圧はお問い合わせください。(コイル形状、仕様異なります)  
 注2. 屋外で使用する場合は端子箱を併用してください。  
 なお、端子箱付は専用電圧となり、TB-03型端子箱付の場合は防雨形 (IP03相当)、TB-03C型端子箱付の場合は防塵・防沫形 (IP54相当) となります。

#### WS-22CN, 25CN型 (通電時弁開) ■構造図



写真はWS-22CN型です。



#### ■仕様 水道法性能基準適合品

種類	本体青銅製	本体ステンレス製
型式	WS-22CN型	WS-25CN型
製品記号	WS22CN-F	WS25CN-D
呼び径	20・25	
適用圧力	0~1.0MPa (コイルが水平の場合は0.03~1.0MPa)	
材質	本体 (CAC)、要部 (SUS・NBR) 本体 (SCS)、要部 (SUS・NBR)	
定格電圧	AC100V 50/60Hz AC200V 50/60Hz共用	
定格電流	AC100V: 0.35A AC200V: 0.18A	
起動電流	AC100V: 1.30A AC200V: 0.65A	
保護構造	防塵、防沫形 (IP54相当)・屋内用 <sup>注2</sup>	
Cv値	呼び径20: 7、呼び径25: 10	

注1. 他の特殊電圧はお問い合わせください。(コイル形状、仕様異なります)  
 注2. 屋外で使用する場合は端子箱を併用してください。  
 なお、端子箱付は専用電圧となり、TB-03型端子箱付の場合は防雨形 (IP03相当)、TB-03C型端子箱付の場合は防塵・防沫形 (IP54相当) となります。



# WS-40N Type Solenoid Valve (for Water)

## WS-40N型 手動機構付電磁弁

 製品記号 WS40N-F **NEW**

[桃太郎II]

水道法性能基準適合品

停電などの緊急時でも手動機構ニードルを回すだけで簡単に通水が可能です。定水位弁のパイロット電磁弁や散水設備などに最適です。

### ■特長

- 手動開閉機構付で、流体圧力による主弁の開閉作動が行えます。
- 弁閉時の水撃を防止する、ウォータハンマ緩和機構付。
- AC100V/200V 共用コイル。
- 管端コア取付可能。(オプション品)

### ■仕様

作動	通電時弁開
製品記号	WS40N-F
呼び径	20・25
適用流体	水・水道水
流体温度	5~60℃(管端コア使用の場合5~40℃)
適用圧力	0.03~1.0MPa
弁前後の最小差圧	0.03MPa
許容漏洩量	なし(圧力計目視)
Cv値	呼び径20 : 4、呼び径25 : 7
定格電圧	AC100/200V 50/60Hz AC110/220V 60Hz 共用
定格電流	AC100V : 0.21A、AC200V : 0.10A
起動電流	AC100V : 0.70A、AC200V : 0.35A
絶縁種別	B種
周囲温度	5~60℃
保護構造	防塵・防沫(IP54相当)・屋内用 (屋外で使用する場合は端子箱を併用してください。注1.)
端接続	JIS Rcねじ注2.
材質	本体(CAC)、ダイヤフラム(NBR)
取付姿勢	水平・垂直(取付配管に対しコイル下向き除く)
本体耐圧性能	水圧にて1.75MPa

注1. 端子箱付は専用電圧となり、TB-03型端子箱付の場合は防雨形(IP03相当)、TB-03C型端子箱付の場合は防塵・防沫形(IP54相当)となります。(端子箱については、383頁をご参照ください。)

注2. 管端コア付も製作しています。

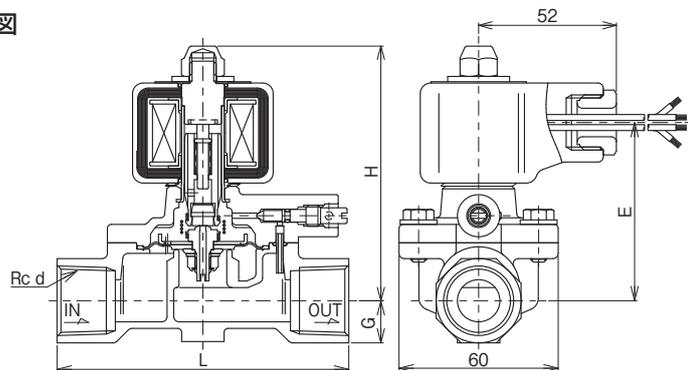
注3. リード線結線方法は、383頁をご参照ください。

注4. 定水位弁のパイロット配管用途の場合、呼び径200以下の定水位弁を使用してください。

### ■寸法表

呼び径	d	L	G	H	E	質量(kg)
20	3/4	110	16	96	68	1.3
25	1	120	21	101	72	1.5

### ■構造図



### ■手動機構操作方法

ダイヤフラム上部の流体を二次側に逃がすことで、一次側の流体圧力により停電時に電磁弁の開閉作動を行うことができます。

注1. 手動機構を使用する場合、弁前後の圧力差を0.03MPa以上確保してください。

注2. 手動機構ニードルは4回転以上回さないでください。





## DATA/Level Control Valve (FV Valve)

## 定水位弁 (FVバルブ) 関連商品

## LB-2N型定水位弁パイロット用ボールタップ

定水位弁 (FVバルブ、呼び径200以下) に標準で付属の複式タイプの定水位弁パイロット用ボールタップです。定水位弁本体と連携で水槽の水位を制御します。

※定水位弁を交換した場合は、ボールタップも交換してください。



## ■仕様

水道法性能基準適合品  
寒冷地対応

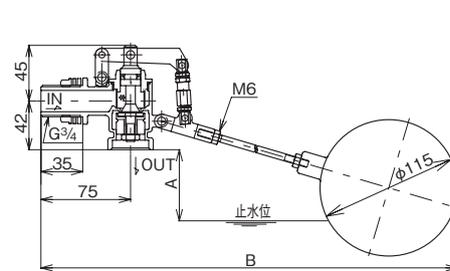
定水位弁本体呼び径 <sup>注1</sup>	20~50	65~150	200
製品記号	LB2N-F2	LB2N-F5	LB2N-F6
適用流体	水道水・工業用水		
流体温度	1~60℃		
適用圧力	0~0.75MPa		
材質	本体	CAC911 <sup>注2</sup>	
	フロート	ポリエチレン (砂入り) <sup>注3</sup>	
本体耐圧性能	水圧にて1.75MPa		

注1. 定水位弁本体呼び径250以上はお問い合わせください。

注2. 本体ステンレス製は196頁をご参照ください。

注3. フロートSUS玉も製作しています。

## ■構造図



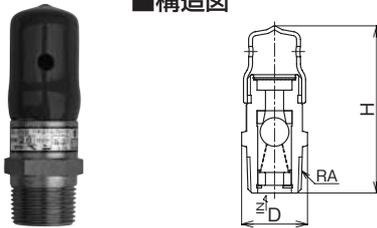
## ■寸法表

製品記号	A	B	質量 (kg)
LB2N-F2	110	450±10	1
LB2N-F5	200	500±10	1.05
LB2N-F6	250	450±10	1.05

## VD-2N型バキュームブレーカ (定水位弁出口側専用)

定水位弁の出口側配管が長い場合や、立ち上り配管の場合は不安定な作動をすることがあります。このような場合は、定水位弁出口直後の配管にバキュームブレーカを設置してください。

## ■構造図



注. 給水設備・空調設備などの屋内配管に使用する場合は、VD-5HN型 (204頁) をご使用ください。

## ■仕様

水道法性能基準適合品

製品記号	VD2N-F
呼び径	15~25
適用流体	水道水・工業用水
流体温度	5~60℃
適用圧力	0.75MPa以下
開作動性	98.3kPa・A (-3.0kPa) 以下
閉作動性	111.3kPa・A (10kPa) 以上
材質	本体 (CAC406C又はC3604B)、ディスク (NBR) ボール (ポリエチレン)、ストレーナ (SUS304)
取付姿勢	入口側を下にした垂直取付

## ■寸法表

呼び径	A	D	H	質量 (kg)	定水位弁 (FVバルブ) 適用呼び径
15	1/2	25.4	65	0.1	20~32
20	3/4	32.3	88	0.16	40~50
25	1	40.4	100	0.29	65以上

## ■流量表 (空気)

呼び径	-0.003MPa	-0.006MPa	-0.01MPa
15	0.94	1.30	1.65
20	1.40	1.95	2.50
25	1.95	2.70	3.40

●kg/h→m<sup>3</sup>/h (標準状態) への換算方法 (参考)

空気の密度 1.226kg/m<sup>3</sup> (15℃ 1atm)

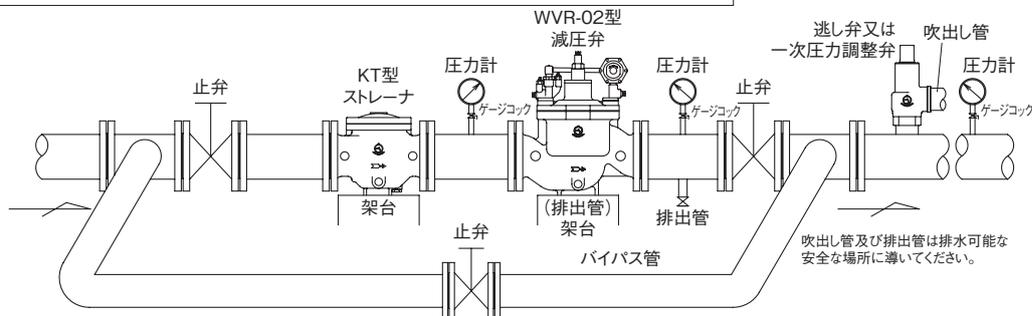
$$\text{m}^3/\text{h (標準状態)} = \frac{\text{上記表の数値 (kg/h)}}{1.226 \text{ (kg/m}^3\text{)}}$$

# 資料/WV型 調整弁(水・温水用)

**注意** 設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

## ■配管例略図(WVR-02型減圧弁の呼び径200以下の例)

※中高層ビルでの高置水槽方式による給水の場合  
減圧弁を一段及び多段で使用する時は、減圧弁の一次側直近に水撃防止器を設置してください。  
(水撃防止器の選定についてはお問い合わせください。)



## ■取付け及び使用上のポイント

### 1. バイパス管

本弁に通水前の水張り、空気抜き、配管内清掃、及び補修時のバイパス運転にバイパス管が必要です。上記配管例略図のように止弁を組み入れたバイパス管を設けてください。

### 2. 直管部

本弁前後には安定作動確保のため、直管部を設けてください。直管部の長さは配管前後の状態によって異なりますが、呼び径の10~20倍が適切です。

### 3. 配管支持

配管の自重、流体の質量、あるいは連続的な振動、応力、曲げ、その他力学的に望ましくない状態を受けないように、配管支持などを設けてください。

### 4. ストレーナ

本弁の一次側には、ストレーナを取り付けてください。  
※網目：国土交通省仕様は、水用40メッシュ以上。

### 5. 安全装置

減圧弁、保圧減圧弁の二次側には、二次側圧力の上昇を考慮し、逃し弁や一次圧力調整弁を取り付ける場合があります。この逃し弁や一次圧力調整弁の設定圧力の目安は、下表程度としてください。また、この逃し弁や一次圧力調整弁の排出口は、その排出量を受け入れることができる排水溝まで配管してください。

■逃し弁又は一次圧力調整弁の設定圧力表 (MPa)

減圧弁の設定圧力	逃し弁の設定圧力 <sup>注2</sup>
0.1以下	+0.05(+0.08)
0.1を超え0.4未満	+0.08(+0.14)
0.4以上0.6未満	+0.12(+0.2)
0.6以上0.8未満	+0.15(+0.28)
0.8以上1.0未満	+0.19
1.0以上1.2以下	+0.23

注1. 減圧弁の設定圧力に上記値を加算  
注2. ( )内はソフトシート形(SL-37V~40FV,43V,44V型(1.0MPa以下))に適用

### 6. 保温

結露や凍結の恐れがある場合は、保温材被覆をしてください。ただし、電磁弁の場合は、パイロット電磁弁のコイル部分を保温しないでください。

注1. 図はWVR-02型の例ですが、他の機種も同等の配管としてください。ただし、WVM-02型、WMS-02型の出口配管は、一旦立ち上げてください。(配管例：188頁をご参照ください。)

注2. 垂直配管の場合は、配管例略図と同様の垂直配管が必要であると共に、特に配管質量が弁類に加わらないようにすること、メンテナンススペースを十分にとることが必要です。

### 7. 圧力計

本弁の一次側と二次側、さらにバイパス管後の配管の見やすい位置に圧力計を取り付けてください。

### 8. 設置場所制限

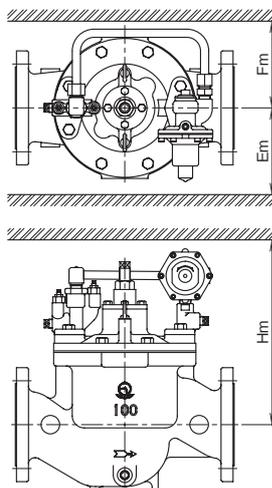
電磁弁の場合、腐食性ガス、爆発性ガスが滞留、又は存在する場所では使用しないでください。

### 9. 排出管

メンテナンスを容易にするために二次側止弁手前に排出管を設けてください。特に建物内に設置する場合、同一場所に電気配線、電気器具が設置されている時などには、必ず排出管を取り付けてください。この排出管は、前後の止弁内側の容量を受け入れることができる排水溝まで配管してください。

### 10. メンテナンススペース

本弁周りには、次に示すメンテナンススペースを設けてください。



■メンテナンススペース表 (mm)

呼び径	Hm	Em	Fm
40	550	600	600
50	550	600	600
65	600	600	600
80	600	600	600
100	800	680	680
125	1000	780	780
150	1200	910	910
200	1400	1060	1060
250	1500	1200	1200
300	1600	1300	1300
400	1800	1400	1400

図はWVR-02型減圧弁の例ですが、他の機種も同等のスペースを確保してください。(WVR-07型、WVM-07型は必要なスペースが異なりますので取扱説明書をご確認ください。)